

第3回和光市公共施設マネジメント実行計画検討委員会

会議要旨

開催日	令和3年2月2日(火) 午前9時30分～午前11時00分
開催場所	オンライン会議（和光市役所3階 庁議室）
出席者	中川委員長、松宮副委員長、矢部委員、玉川委員、牧委員、稲葉委員、中蔦委員
欠席者	なし
事務局	白川課長、岡田主幹、清水主査、酒井主査
次第	1 開会 2 議事 (1) 現状の説明 (2) 第2次和光市公共施設マネジメント実行計画の策定方針 3 閉会
傍聴者	1名(オンラインにて参加)

1 開会	
事務局	○配布資料の確認 ○会議の公開について ・ 市民参加条例第12条第4項に基づき、公開とし、傍聴席を設けている。 ・ 会議録は同条第6項の規定により公開する。
2 議事	
事務局	(1) 現状の説明 コロナにより財政状況のひっ迫が見込まれているが、緊急事態宣言の発令等により見通しが困難になり、財政推計の見込みが出せない状況である。 和光市小中学校個別施設計画より、第2次計画期間内(令和3～7年度)は学校の建て替えがなく、全体を通して、現時点では第2次計画期間内には大きな施設計画はない。
	(2) 第2次和光市公共施設マネジメント実行計画の策定方針 市内の新しい動きとして、和光市都市マスタープラン(以下、都市マス)の地域別構想を小学校区単位とすることが決まった。 都市マスの策定スケジュールでは、地域別構想についての協議が令和3年6～8月頃、素案の策定が令和3年11月頃に予定されている。 これを受けて、公共施設マネジメント実行計画との方向性をあわせるため、都市マスの案が固まった段階で、公共施設マネジメント実行計画の策定を開始することを提案する。それにあたって、計画の空白期間を生じさせないため、「第1次マネジメント実行計画」の目標年次を1年延伸させる方向としたいと考えている。
	●委員間協議

中川委員長	<p>○都市マスとの整合を図ることについて</p> <p>公共施設マネジメントを和光市のまちづくりと一体として考えることは非常に重要なことだ。新しい都市マスと整合性を合わせて進め、都市マス策定の3か月後を目途に第2次計画の策定を開始し、第1次計画の期間を1年延伸する方向が宜しいと考えるが、委員の意見はどうか。</p>
松宮副委員長	<p>概ねの流れは賛成であるが、2点提案がある。</p> <p>①都市マスで地域別構想を小学校区単位とすることになったのであれば、当委員会では以前から各小学校について議論・調査してきたので、その内容を都市マスに対し発信する機会が設けられないか。</p> <p>②都市マスの素案が固まる令和3年9月から策定開始ではなく、素案の前段階の資料を基に、再議論できることがあるのではないか。</p>
事務局	<p>資料1の「会議等」の欄をご覧いただきたい。都市マスの策定に際しては、作業部会、委員会にて協議を行っている。公共施設マネジメント実行計画検討委員会についても都度開催し、そこで出た意見を、都市マスの作業部会で資産戦略課長から意見として提出していければと思うが、いかがか。</p>
松宮副委員長	<p>第3回委員会までの公共施設マネジメント側の課題を都市マス側にも情報共有してほしい。</p>
事務局	<p>既に共有はしている。例をあげると、第2回委員会で牧委員からご提示いただいた白子小の建て替えの件等も、作業部会で意見を発信してきたところである。都市整備課との意見交換については、作業部会を通して今後も進めさせていきたい。</p>
玉川委員	<p>方向性は賛成である。</p> <p>あわせて、コロナ禍で世の中が変化していく中、今後どのように公共施設マネジメントとして考えていくかを引き続き協議していきたい。</p>
中川委員長	<p>ここまでの流れを一旦集約すると、以下のとおりとなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従来、委員会で話し合っていたことの意見の集約。 ・ 公共施設マネジメント実行計画と都市マスとの整合を図る。 ・ 世の中の状況を踏まえ、すり合わせながら軌道修正していく。
矢部委員	<p>方向性は賛成である。</p> <p>資料1のスケジュール感として、都市マスへのフィードバックを考えるのであれば、7、8月からの議論では遅い。地域別構想を検討していく5、6月頃には議論をする必要があるのではないか。地域別懇談会等の地域からの要望を聞くことも大切であるし、間に情報を受け取る機会があるとよい。</p>
中川委員長	<p>○公共施設マネジメント実行計画検討委員会の開催について</p> <p>都市マス素案が令和3年9～11月頃に完成するより前に、都市の全体構想などを鑑み、公共施設マネジメントの観点からの意見を都市マス策定側にお伝えする機会があったほうが望ましい。</p> <p>これまでの議論の集約も踏まえて、様々な観点から都市マス側に意見をお伝えできるよう、都市マス地域別構想を集約する機会である令和3年5～6月頃にあわせて、本委員会も開催する。</p>

中川委員長	<p>当委員会では、これまでの議論に加えて、今後の社会環境の変化に合わせた新しい課題を委員同士で共有し、議論を行う。</p> <p>これまでの議論と現状を踏まえると、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現時点で、社会状況の変化を見通すことは難しい。 ・ 小学校区の大きな流れとして、改築や長寿命化改修が直近にない。 <p>そのような状況の中で、小学校区を単位とした都市マスの策定プロセスと連動して公共施設マネジメント実行計画を策定することについては、委員全員の総意が得られたと解釈している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市マスとの整合を図るために、第2次実行計画の策定期間もそちらに順じて延長する。 ・ 空白期間を設けないために、第1次実行計画を延伸する。 <p>また、都市マスで出てきた情報に迎合してだけでなく、公共施設マネジメント側からも意見をお伝えできるよう、本委員会も開催していく。</p> <p>以上がまとめであるが、事務局からの意見はどうか。</p>
事務局	<p>都市マスと連携していくことは事務局としても賛成である。</p> <p>ただ、懸念事項として、都市マスは上位計画であるため、予定通りのスケジュールで情報を本委員会に提供できるかどうかは確実ではない。</p> <p>地域別構想の議論についても、資料1では令和3年5、6月頃と予定されているが、事前に情報を得て、それを提供することも困難である。したがって、都市マス側の作業部会、委員会後の情報を基に本委員会で議論していただくことになる可能性が高い。</p> <p>公共施設マネジメント側の意見をお伝えする場合は、資料1に示すところの「作業部会」が該当する。資料1上では令和3年6月開催予定となっているが、これより前に次回委員会を開催できないこともあり得る。地域別構想の情報を作業部会で得てから当委員会を開催する可能性も十分に考えられるので、その場合、どのように都市マス側に意見を伝えるかは検討する。</p>
中川委員長	<p>相手があることなので、難しいことは理解した。情報提供いただけるかは課題としてあるが、「都市マス地域別構想作業部会」が開催される前には、本委員会も開催してもらいたい。</p>
松宮副委員長	<p>「都市マス地域別構想」が集約する点は理解した。</p> <p>それとは別に、今までの委員会でペンディングになっている課題を、現状に併せて議論する場を設けてほしい。</p> <p>また、「地域別構想作業部会」に小学校の建替えなどの議論を情報提供してみてもいいのではないか。</p> <p>都市マス側のコロナ禍中に実施した市民意向調査や市民アンケート、今後行う予定である地域別懇談会等から吸い上げた意見を、本委員会に情報提供をいただき、公共施設マネジメント実行計画に活かせるものがあれば取り入れられたらと思う。</p>
玉川委員	<p>コロナで確実に変化が生じた社会情勢については議論が可能だと思う。</p>

矢部委員	現在の社会情勢を踏まえると、物理的に接点を持つ必要があること、接点を持たずとも実行できることを整理して議論していくことも大切である。コロナ禍に併せた施設のあり方やまちの使い方の議論を計画に入れることは、先進的な取り組みになると思うので、ぜひ積極的に取り入れていきたい。
中川委員長	ここまでの議論から、議題を整理すると、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区別の情報を吸い上げた後に委員会を開催 ・ コロナ禍に併せたこれまでの本委員会の議論を整理 ・ 都市マス側から情報提供があれば、それを踏まえた議論ができないか 以上の課題をベースにした委員会を開催してほしい。
稲葉委員	市民意向調査や中学生アンケート等の市民意見の吸い上げ結果は、より確かな提案の反映に繋がると思うので、開示・共有して検討推進していきたい。
中川委員長	和光市で現在把握している市民意見等を本委員会に情報提供いただく。そのうえで、これまでの意見の確認と新しい社会環境の変化とのすり合わせの場を委員会として設けていただきたい、というのが委員の総意である。和光市の意見はどうか。
事務局	作業部会を通じ、都市マスに意見を言うことはよいが、当委員会のアウトプットは公共施設マネジメント実行計画を策定することである。それぞれ独立した委員会であるので、都市マス委員会の部会のような位置づけの議論は避けてもらいたい。都市マス側から開示できる情報はできる限りお伝えする所存であるが、あくまで公共施設マネジメント委員会の本懐を失わないでいただきたい。
中川委員長	都市マスとダイレクトに結びついた委員会でないことは承知しているので、事務局と委員側での考えは解離していない。 <ol style="list-style-type: none"> ①当委員会の方向性を確認すること。 ②都市マスの地域別構想を当委員会での議題とする。 ③できる範囲で都市マスへ当委員会が出た意見を届ける。 としてみてはいかがか。
事務局	事務局としては委員会を前向きに進める所存であるが、都市マスのスケジュールも変動的なため、ベストなタイミングで情報提供できるかは未確定である。できる限りの努力はするが、必ずしもベストなタイミングで情報提供できない可能性があることはご留意願いたい。 都市マス側へは、作業部会を通じて当委員会の意見を届ける形とさせていただきます。

中川委員長	<p>了承した。それでは、本日の意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都市マスを踏まえた第2次公共施設実行計画とする。 ・ 空白期間を生じさせないために第1次公共施設実行計画を延伸する。 <p>都市マスを反映したマネジメント委員会を精力的に開催するために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までの方向性の整理を行う。 ・ 社会環境の変化に合わせた見直しを行う。 ・ 都市マスの地域別構想で得られた情報を踏まえた会議の開催。ただし、情報の開示非開示のタイミングもあるため、事務局側で精査する。
全 員	異論なし。
4 次回開催予定の連絡	
事務局	<p>委員の任期は、委嘱書にて「提言書を市長に提出するまで」となるが、実質期限が約1年延長することについて不都合のある方がおられましたら、個別にお伺いしますので、別途事務局と調整させてください。</p> <p>本日の会議録を作成しますのでご確認の上、修正等がありましたら事務局へ連絡ください。修正後にホームページで公開する。</p>
5 閉会	